

I ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：車種DBの内容と貴社ビジネスモデルでの役割はどのようなものですか？

A： 正式名は「車種カタログデータベース」で、国産車・輸入車の約15万グレードを収録するデータベースです。

車種DBの構造は、基礎データ（車種・グレード・価格・性能・型式・諸税等々）を網羅した上に、更にカタログデータ（メーカー／ディーラーでの標準装備・オプション装備・カラー・画像等々）を付加情報としています。カタログの文字ベース情報を、階層的なデータベースとして組み込んでいくところに大きな特色があります。

集約されているデータ量や種類は、基本項目・オプション項目・アクセサリ項目等で380項目を超え、詳細で大量のデータを集積しているとともに、使いやすく、汎用性の高いデータベースとなっています。これにより充実した車両情報・価格情報等に容易にアクセスできだけでなく、例えばメーカーのセットオプションと排他オプションの関係等もデータで管理できるようになっています。

車種DBは、これまで管理しきれずに見過ごされてきたデータ群を記録・保管し、分析できるようにしたことによって、これまではなかった新たな仕組みやシステムを生み出すことにつながっています。

具体的には、当社のお客様においては基幹システムの車両マスタ、車両見積もりシステム、中古車買取査定システム等々の各種アプリケーションの基盤データとしてご活用いただいています。

一方、当社がご提供している業務支援ソリューションの「シスロけっと」や「CAドクター」等の基盤となるビッグデータとして当社のビジネスモデルを支えています。



I 株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063

同事務取扱所 (お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.slc.jp/>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

I 企業データ

Corporate Data

商号 システム・ロケーション株式会社
英文社名 System Location Co.,Ltd.
本店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <http://www.slc.jp/>

創業 1992年7月1日
上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ(証券コード2480)
資本金 191,445,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株主数 559名
事業内容 自動車ファイナンス事業者向け業務支援
従業員数 32名

役員

【取締役】

代表取締役社長 千村 岳彦
常務取締役 前田 格
常務取締役 内村 裕一
取締役 林 雅大
取締役(社外) 永野 竜樹

【監査役】

常勤監査役(社外) 小島 寔
監査役(社外) 鈴木 清雄
監査役(社外) 山中 雅雄

株主通信 第51期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの第51期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の事業概況と決算をご報告いたします。

当社関連市場の新車販売台数・中古車登録台数（乗用車）は、前期の減少傾向から7～8月と持ち直したものの、9月に再び減少し、当期累計では横ばいで推移しました。

こうした市場環境の中で、前期に続き自動車流通業界向けの各種支援システムへの需要は堅調に推移し、また自動車ファイナンス業界向けシステムも従量課金増などにより増加したことから、売上高は増加しました。

当第2四半期連結累計期間の損益は、売上高が増加したものの、基礎データに係る投資によるシステム原価の増加及び本社改修工事関連費用が発生したことで、営業利益は減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高：447,607千円（前年同期比 5.0%増）
営業利益：140,961千円（前年同期比 5.6%減）
経常利益：157,119千円（前年同期比 5.3%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益：108,159千円
（前年同期比 4.7%減）

当社グループは引き続き ①既存商品の進化、②新商品の開発、③新事業への挑戦 を通して売上分野の多様化と顧客数の増加を実現し、バランスの良い成長と安定を兼ね備えた経営の実現を目指していきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村岳彦

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2018年3月期	2018年9月期	増 減
流動資産	1,381	1,344	△36
固定資産	1,132	1,201	68
流動負債	156	128	△28
固定負債	293	302	8
純資産	2,063	2,114	51
総資産	2,513	2,545	31

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2017年9月期	構成比	2018年9月期	構成比
売上高	426	100.0%	447	100.0%
売上総利益	341	80.1%	353	78.9%
営業利益	149	35.0%	140	31.5%
経常利益	165	38.9%	157	35.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	26.6%	108	24.2%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

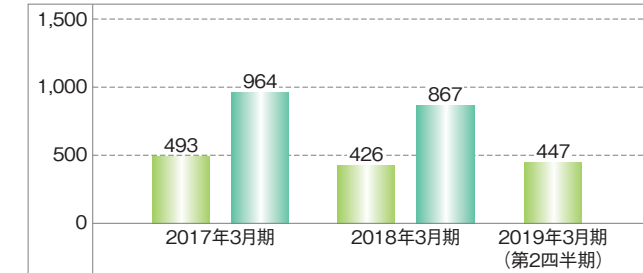
	2017年9月期	2018年9月期	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,071	1,261	190
営業活動キャッシュ・フロー	163	89	△74
投資活動キャッシュ・フロー	△34	△68	△34
財務活動キャッシュ・フロー	△59	△58	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,141	1,223	82

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

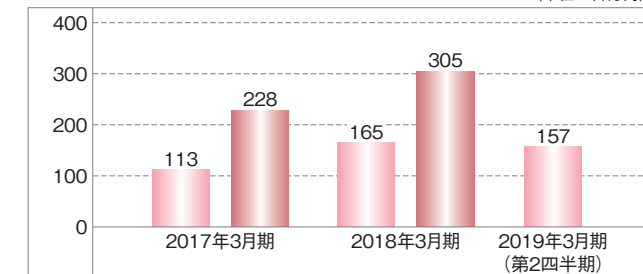
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 （単位：百万円）



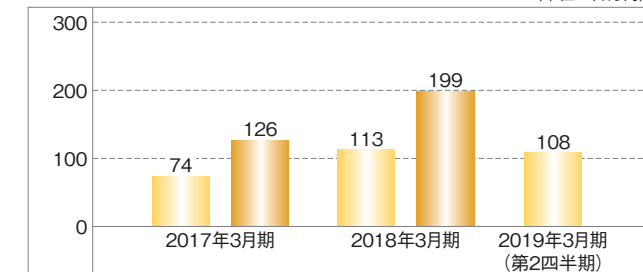
経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期 （単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

■ 第2四半期 ■ 通期 （単位：百万円）



総資産／純資産

■ 総資産(通期) ■ 純資産(通期)
■ 総資産(第2四半期) ■ 純資産(第2四半期) （単位：百万円）

